

西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

【学校教育目標】

一夢がわき 心もはずむ 西小の子一

・素直で心豊かな子

・進んでくり返し学習する子

・ねばり強くたくましい子

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の実現に向けて

校長 竹谷 浩一

令和4年度にさいたま市立学校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会）が全面実施され、5年目を迎えました。本校でも毎年、地域や保護者の代表を委員に委嘱し、年3回の協議会を開催しています。昨年度第1回では「地域に根差す学校の目指す姿」、第2回では「どんな子どもを育てたいか」について熟議し、第3回では「学校評価の結果と考察・次年度の学校運営」をテーマに熟議しました。中でも『子どもたちのために学校・家庭・地域ができること』にスポットを当てて、教育活動の充実、地域との協働活動の可能性について話し合ったことが今でも心に残っています。あの時、改めて西浦和小学校が地域から愛されていると実感しました。

さて、今年度は新たな試みとして、協議会に子どもたちの代表が参加する機会を設けようと考えています。子ども目線で学校の様子や理想の学校についてリアルに語ってもらい、それを聞いた大人たちが感じたことを実行できるようにしたいと思います。当日の議事録は、学校HPや学校だより等でお知らせする予定です。保護者の皆さんの力をお借りする場面があるかも知れません。その時はよろしくお願いします。

話は前後しますが、そもそもコミュニティ・スクールとはどんな制度なのでしょう。地域・保護者の皆さんにとってはまだまだ認知度が低い制度かもしれませんね。以下にそのイメージができる市教委提供のストーリーを紹介します。ご一読ください。

「未来の学校・地域」（令和4年度）

私の住む地域で、未来を担う子ども達のために、すべての大人達が教育に対して本気で向き合う試みがはじまった。

そのために、大人達は学校に集いつながり、本音で意見を出し合い、時にはぶつかり合い、新しい価値を創造しながら、学校、家庭、地域の課題解決の方向性を見出していく。抱える課題はそれぞれに多様だからとても難しいことのように思うが、大人達は自分の人生経験や得意分野を生かし、できるだけ多くの人々の参画を得て協働していく。子ども達は、果敢に課題解決に挑戦しているそんな大人達の真剣な姿を見て、自分たちも未来のために何ができるだろうかと考え、課題解決に向けて動き出す。

このように、学校を舞台として、学び合い支え合いながらつながることで、学校や家庭、地域に幸せがあふれ、それが幾重にも輪になって住んでいるまちが輝いていく。

目の前の「協働」という一歩は、時を超えて未来への大きな一歩へとつながり、すべての人が豊かな人生を送ることができる地域社会を築いていく。学校は、子どもの学びの場であるだけでなく、大人の学び場ともなっていくのだ。

コミュニティ・スクールはそんな未来をつくる重要な鍵となるかもしれない。

これまで学校、家庭、地域それぞれが担ってきた役割は何となく固定観念があり、コミュニティ・スクールが軌道に乗るまでにはもう少し時間がかかると思います。結果を焦らずゆっくり時間をかけて、西浦和小独自のコミュニティ・スクールを組み立てていきたいと思っています。

校長のつぶやき(2年目)

4月8日(水)の始業式・入学式の日が数日前だと感じるくらい、4月があっという間に終わりました。1年生のクラスを回っていると、まだそわそわしているものの、担任の話を真剣に聞いています。17日(金)の給食開始日には、「校長先生、給食おいしい!」と最高の笑顔を見せてくれました。この時期になり、だいぶ小学生らしくなってきたように感じます。

2～6年生の子どもたちは、新しい学年・クラスで自分の居場所を探しています。難しくなった学習内容に戸惑いながらも、自分の力で解決しようと頑張れ、友だちとの関係も一進一退を繰り返しています。これからいろいろなことが起こりますが、保護者や地域の皆さんと力を合わせて乗り切っていきたいです。